

2015 年 JACM 総会報告

吉村 忍 JACM 会長 (東京大学)

岡田 裕 JACM 事務局長 (東京理科大学)

USNCCM 13 (13th US National Congress on Computational Mechanics) (アメリカ, サンディエゴ, 7月27日~30日) の2日目, 2015年7月28日(火)の昼休みの時間帯に, 2015年JACM総会が開催されました. 出席者総数は24名でした. 本報告の最後に出席者リストを添付致します.

JACM総会は, 毎年, IACM傘下の計算力学国際会議であるWCCMやAPCOM, ECCOMAS, USNCCMに合わせて開催されています. 会議に参加しているJACMメンバーが昼食時に会場近辺のレストランに集い, 会議の様子や最新研究動向に関する情報交換の他, 現地の文化・レストラン情報などについて会話を楽しむことも総会の目的の一つです. 前回・前々回は会場周辺に適当な場所を見つけることができず学会のセッションルームの一つを使わせて頂いていました. 今回は, 現在カリフォルニア大学サンディエゴ校に滞在中の只野裕一・佐賀大学准教授がUSNCCM 13会場のManchester Grand Hyatt ホテルのすぐ横のレストラン (Seasons 52,

<https://www.seasons52.com/en/locations/CA/San-Diego-The-Headquarters/4541>) を見つけて下さり, 食事をしながらの開催となりました. なお, このレストランはカリフォルニア大学サンディエゴ校のJ. S. Chen 教授の推薦でもあったそうです. また, JACM総会開催に丁度良い大きさの個室 (写真1) を予約することができ, プライベートな雰囲気の中で総会を行うことができました.

JACMの近況報告がありました (写真2). 吉村会長から昨年の総会以降のJACMの活動状況について, 資料に基づき報告がありました. 会員数の状況, メルマガの件, 運営委員改選の件, 2015年3月の役員改選の件, 協力講演会 (USNCCM 13 やPANACM 2015でのMS企画) や, IACM Expressions, WCCM2016 Plenary Lecture やSemi-Plenary Lecture の推薦などに関する件, 共催・協賛イベントに関する件について報告がありました. 報告につきましては, 「JACM総会での配布資料の内容」として本稿に添付してありますのでご覧ください.

その後, 総会のメインイベントである2015年度JACM Awardsの受賞式が行われました. 2014年度の受賞者はJACM Computational Mechanics Awardが金山寛・日本女子大教授, 久田俊明・東京大学名誉教授, 劉浩・千葉大教授の3名, The JACM Fellows Awardが小石正隆・横浜ゴム(株) 理事, 新宮清志・日本大学名誉教授, 高木 周・東京大教授, 藤澤智光・プロメテック・ソフトウェア(株) 代表取締役の4名, JACM Award for Young Investigator in Computational Mechanicsが岩本薫・東京農工大准教授, 竹澤晃弘・広島大准教授, 只野裕一・佐賀大准教授の3名でした. Young Investigator Award, Fellows Awardそして, Award for Computational Mechanicsの順に, 吉村会長から受賞者の方々に賞状が授与されました (写真3, 4, 5, 6). あいにく, JACM Computational Mechanics Awardを受賞された, 金谷教授, 久田名誉教授, 劉教授, Fellows Awardを受賞された新宮名誉教授, 藤澤氏, JACM Award for Young Investigator in Computational Mechanics受賞の竹澤准教授はどうしても都合が付かないということでご欠席でした. 賞状授与の後, 受賞の小石氏, 高木教授, 岩本准教

授, 只野准教授のからお言葉を頂きました (写真7, 8). 受賞者の方々については, JACM ホームページ (<http://www.sim.gsic.titech.ac.jp/jacm/Japanese/Award/past.html>) もご覧ください. 最後に全員で記念撮影を行い, 総会を終了しました (写真9). 全体で1約時間ほどの総会でした.



写真1 JACM 総会開始直前の会場の様子

(レストラン, Seasons 52 内の個室)



写真2 近況報告をされる吉村会長と参加者

次回, 2016年度の総会は, WCCM & APCOM 2016 (12th World Congress on Computational Mechanics & 6th Asian-Pacific Congress on Computational Mechanics, <http://wccm2016.org>)が韓国・ソウルで2016年7月24日から29日にかけて開催されますので, その会期中に行われる予定です.



写真 3 The JACM Fellows Award を受賞された小石正隆・横浜ゴム（株）理事と吉村会長



写真 6 JACM Award for Young Investigator in Computational Mechanics を受賞された只野裕一・佐賀大准教授と吉村会長



写真 4 The JACM Fellows Award を受賞された高木周・東京大教授と吉村会長



写真 7 受賞の挨拶をされる小石正隆・横浜ゴム（株）理事



写真 5 JACM Award for Young Investigator in Computational Mechanics を受賞された岩本薫・東京農工大准教授と吉村会長



写真 8 受賞の挨拶をされる岩本薫・東京農工大准教授



写真9 総会出席者の集合写真

JACM 総会での配布資料の内容：

1. 会員数/ Members

302 名 (2015.7.28 現在)【296 名 (2014.7.22 現在)】(IACM members registered through JACM : 202 名)

2. E-mails & URL

Secretary : jacm-jim@save.sys.t.u-tokyo.ac.jp
 All members : jacm-kaiin@save.sys.t.u-tokyo.ac.jp
 GC members : jacm2015-StC@save.sys.t.u-tokyo.ac.jp
 Membership Application : membership_jacm@sim.gsic.titech.ac.jp
 Homepage : <http://www.sim.gsic.titech.ac.jp/jacm/>

3. JACM Mail Magazine

No.1 ~ No.28 were published. (No.26 ~ 28 have been published during Aug. 2014- July 2015)

We wish to enrich its contents, and continue to publish one issue in two months.

4. 2015 JACM Awards

CM Awards : 3 名
 H. Kanayama (Japan Women's Univ.), T. Hisada (UTokyo), H. Liu (Chiba Univ.)
 Fellows Awards : 4 名
 M. Koishi (Yokohama Rubber, Co. Ltd.), K. Shingu (Nihon Univ.), S. Takagi (UTokyo), T. Fujisawa (Prometech Software, Inc.)
 YIA : 3 名
 K. Iwamoto (Tokyo Univ. of Agriculture and Technology), A. Takezawa (Hiroshima Univ.), Y. Tadano (Saga Univ.)

5. 運営委員/ General Council Members

29 学協会が運営委員を出している。新規に、「日本フルードパワーシステム学会」、「日本船舶海洋工学会」、「日本気象学会」の 3 学会が 2015 年から参加。運営委員任期は 2018 年 3 月 31 日まで。

In March 2015, 39 GC members were elected from 29 computational mechanics-related societies in Japan. Their term of service will finish on 31st March 2018. Three societies ("Japan Fluid Power System Society", "The Japan Society of Naval Architects and Ocean Engineers" and "The Meteorological Society of Japan") have become new members of JACM from April 2015.

6. 役員/ Executive Members

会長：吉村忍（東京大学），副会長：青木尊之（東京工業大学），西脇眞二（京都大学），事務局長：岡田裕（東

京理科大学）2015 年 3 月に再任（会長は運営委員による互選、副会長と事務局長は会長の指名），役員任期は 2018 年 3 月 31 日まで。

President : S. Yoshimura (UTokyo),

Vice-Presidents : T. Aoki (Tokyo Institute of Tech.), S. Nishiwaki (Kyoto Univ.),

Secretary General : H. Okada (Tokyo Univ. of Science)

Their terms of service will also finish on 31st March 2018.

They continue to serve as the executive members of JACM following their terms of 2012-2014.

7. 協力講演会 & JACM 関連 MS / Supporting Conferences and MS Organized by JACM Members

(1) USNCCM 13, Dan Diego, 26-30 July, 2015

1. Biomedical Fluid Mechanics and FSI (K. Takizawa, M.-C. Hsu, T. Tezduyar, Y. Bazilevs)

2. Flows With Moving Boundaries and Interfaces (M.-C. Hsu, T. Tezduyar, Y. Bazilevs)

3. Recent Advances in Computational Fracture Mechanics (H. Okada, X. Gao, T. Nagashima)

4. Iterative Methods and Parallel Computing (S. Yoshimura, A. Sameh, H. Kawai)

5. Advances in the Boundary Element Method (Y. Liu, N. Nishimura, M. Schanz, E. Pan)

6. Fluid-Structure Interaction (T. Tezduyar, K. Takizawa, M.-C. Hsu)

(2) PANACM 2015 (1st Pan-American Congress on Computational Mechanics)

1. Structural Integrity – Fracture Mechanics (H. Kawai, H. Okada)

2. High Performance Computing and Related Topics (R. Shioya, D. Tagami)

3. Recent Advances in Meshfree and Particle Methods (S. Koshizuka, K. Nishimoto, L. Yee Cheng)

(3) 5th International Industrial Supercomputing Workshop (IISW2014) 2-3 October, 2014.

8. IACM expressions

No.35 (June 2014) :

Article on COMPSAFE 2014 (1st International Conference on Computational Engineering & Science for Safety & Environmental Problems)

No.36 (Jan. 2015) :

Article on 5th International Industrial Supercomputing Workshop (IISW2014)

Report on 2014 JACM Awards and 2014 JACM Annual Meeting in Barcelona

9. 各種推薦/ Nomination

Nomination to 2015 PL/SPL (SPL of JACM Member : T. Aoki)

10. 共催イベント/ Co-organizing Events

(1) 日本学術会議「第 5 回計算力学シンポジウム」2015 年 12 月 7 日，日本学術会議

5th Computational Mechanics Symposium Organized by Science Council of Japan

若手招待講演者推薦：竹澤晃弘准教授（広島大学）

Nomination of Young Investigator to Invited Speaker: Professor. A. Takezawa (Hiroshima Univ.)

(2) 第 10 回 ADVENTURE 定期セミナー 2015 年 6 月 26 日 東京大学

10th ADVENTURE Seminar

11. 協賛イベント/ Supporting Events

(1) 2015 年度 JSME 計算力学技術者認定事業

上級アナリスト試験：2015 年 9 月 6 日(日)，東京

1, 2 級試験：2015 年 12 月 19 日(土)，東京，名古屋，

大阪, 金沢, 福岡

2015JSME Certification Program of Computational Mechanics Engineers

Test for Senior Analysis on 6th Sep. 2015 in Tokyo

Tests for Grades 1 and 2 on 19th Dec. 2015 in Tokyo, Nagoya, Osaka, Kanazawa and Fukuoka

(2) 12th WCCM - 6th APCOM, 24-29 July, 2016, Seoul

JACM メンバーから 23 件の MS 提案があった。(2015 年 7 月 21 日現在) There are a total of 23 MS proposals by JACM members.

(3) Asian Congress of Structural and Multidisciplinary Optimization 2016(構造および複合領域最適化アジア国際会議, 略称 ACSMO 2016) Nagasaki, May 23-26, 2016

1 2. 検討課題 Future Issues to be discussed

JACM メルマガの記事の充実/ Enrichment of Articles in JACM Mail Magazine

JACM 関係活動のより一層の海外発信/ More Broadcasting JACM Activities to abroad

・英文 HP の充実 (JACM 活動や国内関連活動の海外発信)

Improvement of JACM's webpage, especially English

webpage, uploading JACM activities in English

・IACM expression への JACM メンバーからの寄稿の強化

Promoting JACM members to submit their research articles to IACM expression

1 3. その他

2015 年度総会出席者名簿 (敬称略, 50 音順):

青木尊之 (東京工業大), 阿部和規 (東京大), 伊井 仁志 (大阪大), 今井陽介 (東北大), 岩本薫 (東京農工大), 岡田裕 (東京理科大), 尾形陽一 (広島大), 荻野正雄 (名古屋大), 金井 太郎 (早稲田大), 河合浩志 (諏訪東京理科大), 小石 正隆 (横浜ゴム株式会社), 洪 基源 (東京大), 佐々木崇史 (早稲田大), 高木周 (東京大), 高橋昭如 (東京理科大), 田上大助 (九州大), 滝沢先生 (早稲田大), 只野裕一 (佐賀大), 長嶋利夫 (上智大), 萩原世也 (佐賀大), 三目直登 (東京大), 山田知典 (東京大), 遊佐泰紀 (東京理科大), 吉村忍 (東京大), 計24名でした。

USNCCM 13

(The 13th U.S. National Congress on Computational Mechanics)

報告

岡田 裕 JACM 事務局長 (東京理科大学), 青木尊之 JACM 副会長 (東京工業大学)
伊井仁志 (大阪大学), 今井陽介 (東北大), 荻野正雄 (名古屋大学)
高橋昭如 (東京理科大学), 田上大助 (九州大学), 只野裕一 (佐賀大学)
長嶋利夫 (上智大学)

1. はじめに (全体報告)

2015 年 7 月 27 日 (月) から 30 日 (木) にかけて, 第 13 回の US National Congress on Computational Mechanics が開催されました. その出席報告をさせていただきます. 出席した JACM メンバー【青木 (東京工業大学), 伊井 (大阪大学), 今井 (東北大), 荻野 (名古屋大学), 高橋 (東京理科大学), 田上 (九州大学), 只野 (佐賀大学), 長嶋 (上智大学)】からは, それぞれ出席したミニシンポジウムの様子を報告いたします.

会場は, カリフォルニア州のサンディエゴのダウンタウンにある, Manchester Grand Hyatt (写真 10) でした. 会場からは, サンディエゴ湾を望むことができ, その海の青さが印象に残りました. また対岸には米海軍基地があり, 27 日 (月) は珍しく米海軍の航空母艦が 3 隻停泊していたそうです. 本報告の報告者を含め, 参加者は会議の他, 会場近辺でのレストランでの食事や, USS Midway 博物館 (退役航空母艦の博物館) 見学などを楽しむことができました.

会議の共同議長は University of California, San Diego の Yuri Bazilevs 教授と Dave Benson 教授 (写真 12, 13) です. 26 日 (日) の夕方にレセプションが開催され, 翌 27 日 (月), 朝 8 時半の Welcome Session から学会がスタートしました. Welcome session では Yuri Bazilevs 教授らの挨拶や, USNCCM (US Association for Computational

Mechanics) 会長の Somnath Ghosh 教授 (Johns Hopkins University) (写真 3) による USNCCM の活動紹介がありました. その中でも, Technology Thrust Area に関する話題は今後の計算力学研究の方向性を示唆すると思われます (詳しくは, USNCCM の HP で見るができます: http://www.usacm.org/technical_thrust_areas).

続けて, University of Texas at Austin の Thomas Hughes 教授 (写真 4) による全体講演 "Isogeometric Analysis: Ten Years After" が行われました. その中で, Isogeometric analysis 提案に至った考え方, 研究の過程で多くの若手研究者が育ち, 多数の受賞に繋がっていることなどが紹介されています. その後, 12 時までパラレルセッション, 午後 1 時から 1 時 45 分まで Semi-Plenary セッションが 2 会場に分かれて行われ, 午後のパラレルセッションが行われました. 100 件超のミニシンポジウムが約 25 件のパラレルセッションに分かれて行われました. また, 別表に, Plenary と Semi-Plenary セッションの講演者と講演のタイトルをご紹介します.